

公益財団法人 放送文化基金

Hoso Bunka Foundation

放送文化基金(理事長 河竹登志夫)は、広く放送文化の発展に寄与することを目的として、37年前に設立された民間の財団です。平成23年春に公益法人の認定を受け、公益財団法人として新たにスタートしました。

- ▼ 放送に関する調査・研究や事業に対する助成
- ▼ 優れた放送番組や放送文化・放送技術における業績の表彰「放送文化基金賞」
- ▼ 制作者フォーラムの開催など人材育成の支援

を主な活動としています。

事業概要

平成23年度

助成

Grants

放送文化の発展向上に寄与することを目的として、放送に関連する調査・研究開発および文化的事業に助成金を贈呈します。
(助成額 5,500万円)

技術開発

人文社会・文化

(国際的な協力を含む)

申込み限度額は300万円です。

助成したプロジェクトのなかから成果の発表や意見交換を行う「研究報告会」を開催しています。



表彰

Awards

放送文化基金賞は、4月1日から翌年の3月31日までに放送された「視聴者に感銘を与えた優れた番組」とその期間を中心に「放送に関する分野で顕著な業績をあげた個人・グループ」を対象に表彰します。

番組部門の賞金は、各分野とも本賞100万円、優秀賞50万円、番組賞30万円です。ほかに、表彰された番組の中から個別分野賞(5本)各20万円を贈呈します。

個人・グループ部門の賞金は、放送文化(4件)、放送技術(4件)とも各30万円です。



番組部門

テレビドキュメンタリー

テレビドラマ

テレビエンターテインメント

ラジオ

個人・グループ部門

放送文化

放送技術

■ 制作者フォーラム

Directors Forum

民放、NHK、制作プロダクション等の組織や系列、地域の枠を超えた制作者同士の自由な意見の交換、交流の場を設け、人材育成を目的に全国4つの地区で開催しています。

また、各地区での制作者フォーラムを踏まえて、全国制作者フォーラムを開催します。

● 北日本制作者フォーラム (北海道・東北地区)

● 北信越制作者フォーラム (北陸・長野・新潟地区)

● 中四国制作者フォーラム (中国・四国地区)

● 九州放送映像祭&制作者フォーラム (九州・沖縄地区)

● 全国制作者フォーラム

国際活動

International Activities

設立以来、アジアを中心に放送に関する国際協力に取り組んでいます。「助成」事業では海外の研究プロジェクトや事業へ助成金を贈呈。「表彰」事業では国際的なコンクールである『ABU賞』(主催アジア太平洋放送連合)でラジオとテレビのドラマ番組の最優秀作品に、『日本賞』(主催NHK)で教育番組の優れた企画に、それぞれ賞金を贈呈しています。

放送文化基金ホームページ (日本語・英語)

<http://www.hbf.or.jp>

助成、放送文化基金賞の決定など最新情報のほか、助成の成果報告や制作者フォーラムの実施報告などを紹介しています。

■ 放送文化基金報 ■

年2回刊行します。春号は助成事業を、秋号は放送文化基金賞を中心に放送文化基金の活動を紹介します。

放送文化基金は、1974年(昭和49年)に日本放送協会が千代田区の東京放送会館の土地・建物の売却代金の一部として拠出した120億円を基本財産としています。

公益財団法人
HBF 放送文化基金

案内地図



◆交通：JR山手線／地下鉄銀座線・半蔵門線／東急井の頭線
「渋谷駅」ハチ公口より徒歩12分